

JETRO

# 2023年3月

---

# モンゴル経済概況

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部

2023年3月



# 目次

## I. 最近の動向

1. モンゴルの基礎データ①
2. モンゴルの基礎データ②  
2022年の主要経済指標
3. 新型コロナウイルスの感染状況
4. 最近の政治経済動向①
5. 最近の政治経済動向②
6. GDP・実質成長率の推移

## II. 生産

1. 名目鉱工業生産の推移
2. 貨物輸送量

## III. 貿易・投資

1. 貿易の推移
2. 主要輸出入品目
3. 主要輸出相手国および輸出額
4. 主要輸入相手国および輸入額
5. 日本との貿易概況

## 6. 日モEPAの実績①

## 7. 日モEPAの実績②

## 8. 主要国・地域別直接投資額

## 9. 主要国・地域別投資企業数

## 10. 主要業種別投資企業数

## 11. 日本からの直接投資①

## 12. 日本からの直接投資②

最近の日本企業の進出事例

## IV. 物価・為替レート

1. 物価（インフレ率）
2. 対ドル・対円の為替レート

## V. 財政・金融

1. 歳入・歳出の推移
2. 貸出残高
3. 貸出金利
4. M2の推移
5. 外貨準備高

# 1 | モンゴルの基礎データ①

国名	モンゴル国
面積	156万4,100平方キロメートル
人口	340万9,939人(2021年末現在)
首都	ウランバートル
民族	モンゴル人（全体の95%）およびカザフ人等
言語	モンゴル語（公用語）、カザフ語
宗教	チベット仏教等（1992年2月施行の新憲法は信教の自由を保障）
政体	共和制（大統領制と議院内閣制の併用） 行政区分：21県と1特別行政区
通貨	トゥグルク（100トゥグルク=約3.83円） ※2023年2月24日現在

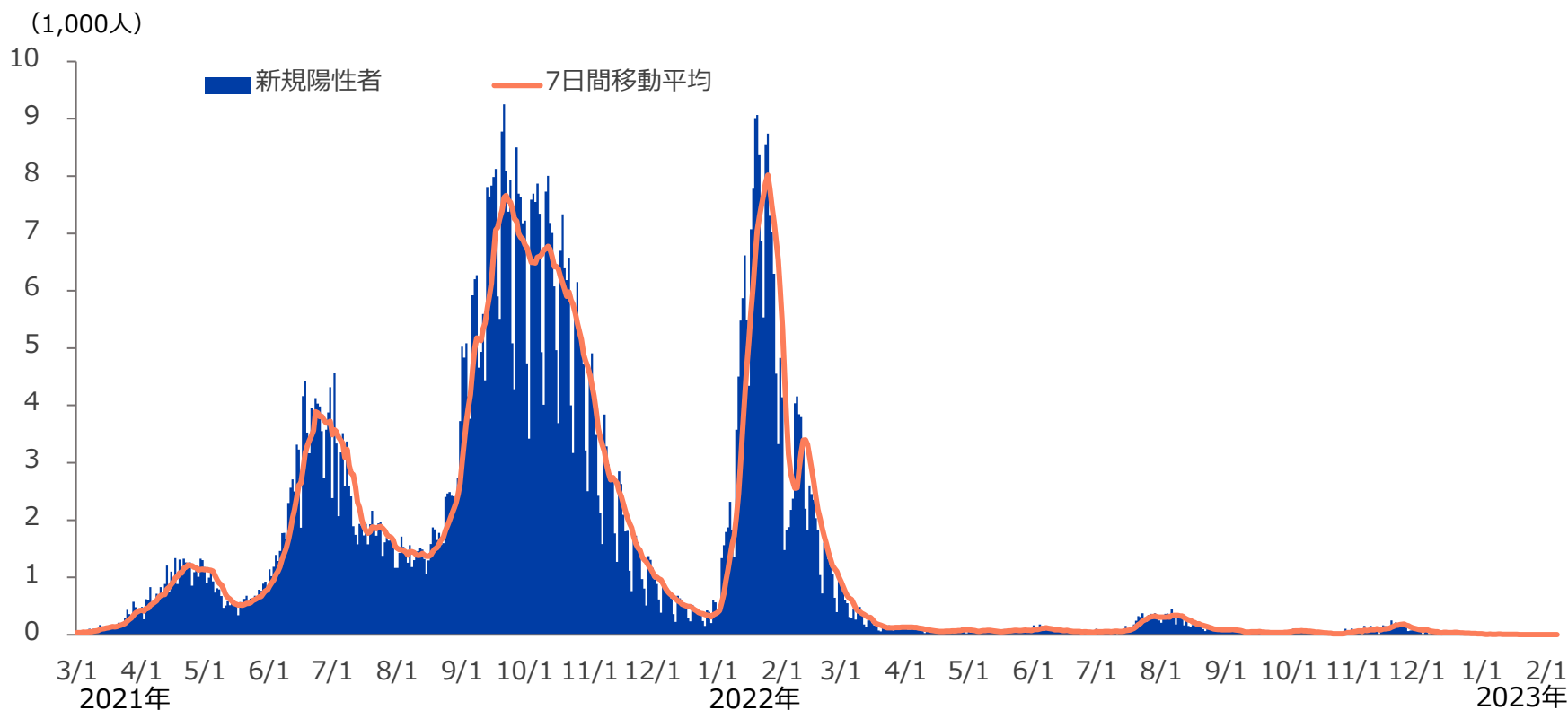
## 2 | モンゴルの基礎データ② 2022年の主要経済指標

- 2022年のモンゴル経済は、石炭および金の輸出が輸出全体をけん引し、輸出額は前年比35.6%増となった。実質GDP成長率は4.8%だった。

指標	単位	金額	前年比 (%)
実質GDP	%	-	4.8
名目GDP	兆トゥグルク	52.9	21.4
貿易総額	億ドル	212.4	32.0
輸出額	億ドル	125.4	35.6
輸入額	億ドル	87.0	27.1
鉱工業生産額	兆トゥグルク	23.3	25.7
インフレ率 (12月、前年同月比)	-	-	13.2
対ドルレート (12月平均)	トゥグルク	3,431	20.4
対円レート (12月平均)	トゥグルク	25.4	1.7
財政収支	億トゥグルク	△9,793	-
貸出残高 (12月末)	兆トゥグルク	22.2	6.5
M2 (12月末、前年同月末比)	兆トゥグルク	29.7	6.5
外貨準備高 (12月末、前年同月末比)	億ドル	34.0	△22.1

### 3 | 新型コロナウイルスの感染状況

- モンゴル保健省の外郭団体「健康開発センター」によると、2023年2月6日時点のモンゴルにおける新型コロナウイルスの累計感染者数は96万7,820人である。
- 2023年2月7日、健康開発センターは新型コロナウイルスの累計感染者数の発表を終了した。



(出所) モンゴル健康開発センター

## 4 | 最近の政治経済動向①

- 中国の新型コロナウイルスの防疫規制緩和を受けて、モンゴルは2023年1月8日からザミンウッド国境検問所での出入国審査を再開した。同日、中国は内モンゴル自治区エレンホト市のエレーン国境検問所での旅客の出入国審査を約3年ぶりに再開した。
  - 中国が新型コロナウイルスの防疫規制を緩和（[ビジネス短信2022年12月28日記事](#)、[2023年1月4日記事参照](#)）したことを受け、モンゴルは2023年1月8日からザミンウッド国境検問所での出入国審査を再開した。
  - また同日、中国は内モンゴル自治区エレンホト市のエレーン国境検問所での旅客の出入国審査を再開、モンゴル・中国間の陸路での旅客移動が2020年1月27日以来、約3年ぶりに再開された（[ビジネス短信2020年2月18日記事参照](#)）。
  - 今回の出入国審査再開に合わせ、2019年9月から中国政府の無償資金援助により拡張・改修工事を行っていたザミンウッド国境検問所のうち、旅客の出入国審査の供用が開始された（注<sup>±</sup>）。

（注<sup>±</sup>） 2019年9月12日着工。中国政府の無償資金援助2億3,350万元（約44億3,650万円、1元＝約19円）、モンゴル政府の自己負担303億5,000万トゥグルク（約11億2,200万円、1トゥグルク＝約0.037円）により建設。改修・拡張工事によって国境検問所の敷地面積は3倍の19.72ヘクタールに、出入国審査の1日当たりの旅客処理能力は4倍に拡張された。トラック、鉄道を含む国境検問所全体の改修・拡張工事の完成は2023年7月の予定。

（出所） ビジネス短信（[2023年02月03日付記事](#)）より一部抜粋

## 5 | 最近の政治経済動向②

- 物価上昇の継続などを理由に、2023年1月1日より最低賃金を引き上げた。
- また、同日より、新型コロナウイルス感染拡大による財政悪化を受けて、個人所得税の累進課税を導入した。
  - モンゴル労働社会保障省など関連当局の決定を受け、2023年1月1日から、モンゴルの最低賃金が月額55万トゥグルクに引き上げられた。これまでの月額42万トゥグルクから31%の引き上げとなる（注1）
  - 最低賃金引き上げの背景には、物価上昇の継続がある。2022年12月時点の全国の前年同月比インフレ率は13.2%だった。前回の最低賃金引き上げは2020年1月1日だが、2022年12月時点での2019年末比のインフレ率は31.9%に達する。
  - また、過去数年の新型コロナウイルスの感染拡大などによる財政の悪化を受け、2023年1月1日から個人所得税に累進課税が導入された。
  - また、新型コロナウイルス感染者数の減少を受け、2022年12月末で新型コロナウイルス特措法（「[モンゴル経済概況\(2022年3月\)](#)」参照）が終了したため、普通預金への利息付与や外貨建て預金のペイオフが再開された一方、住宅ローンの返済猶予や子供手当の全世帯一律支給が廃止された（注2）。

（注1）前回の最低賃金引き上げは2020年1月1日で、月額32万トゥグルクから月額42万トゥグルク（2020年1月1日時点のモンゴル銀行公定レートで約1万6,700円、1トゥグルク=0.0397円）に引き上げていた。

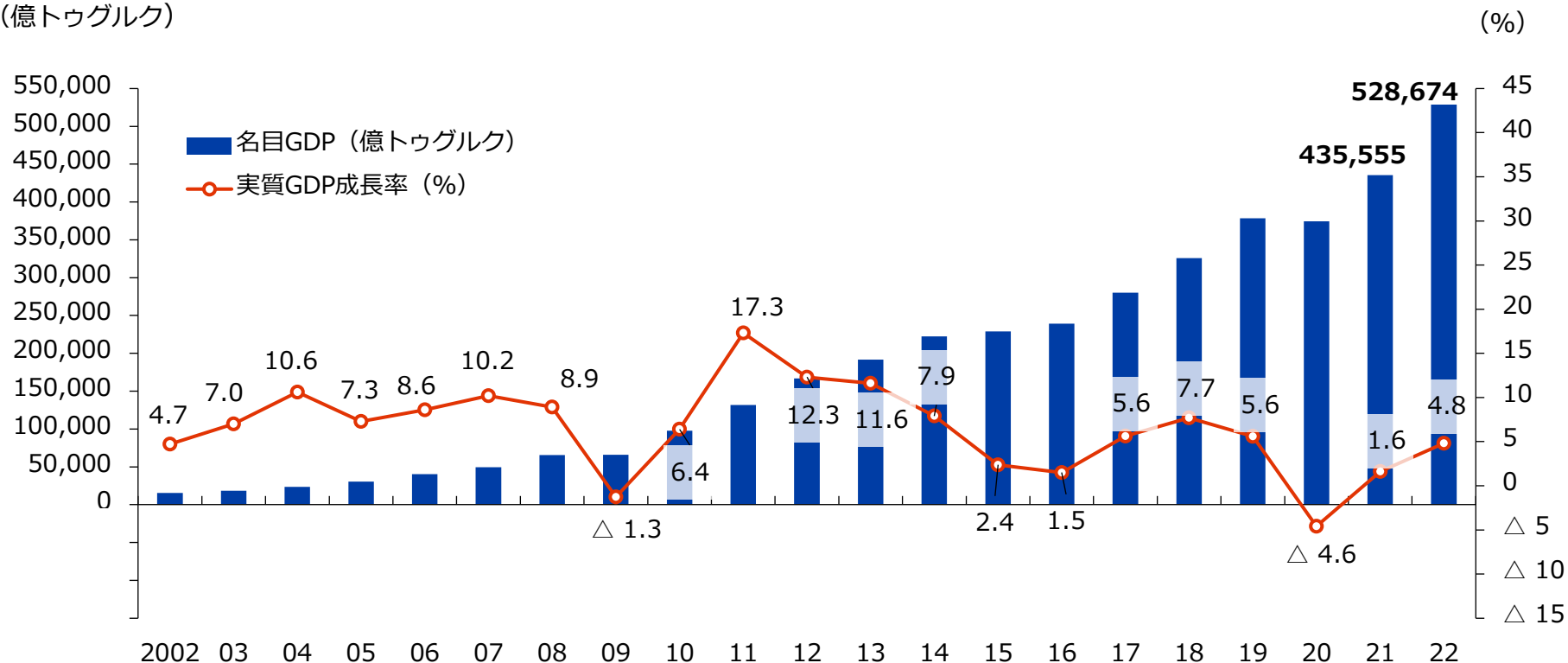
（注2）2023年度予算に関する法案で、世帯所得の上位9%の世帯が対象から外れるが、残り91%の世帯には引き続き月額10万トゥグルクの子供手当を支給すると決定。

（出所）ビジネス短信（[2023年02月06日付記事](#)）より一部抜粋

## 6 | GDP・実質成長率の推移

- 2022年の実質GDP成長率は前年比プラス4.8%、2019年比でプラス1.7%となり、コロナ前の水準を上回った。なお、2022年第4四半期（10-12月）の季節調整済み前期比成長率は3.2%だった。
- 2022年の名目GDPは前年比21.4%増の52兆8,674億トウグルクだった。

(億トウグルク)



(注) 2020年,2021年は暫定値,2022年は速報値。

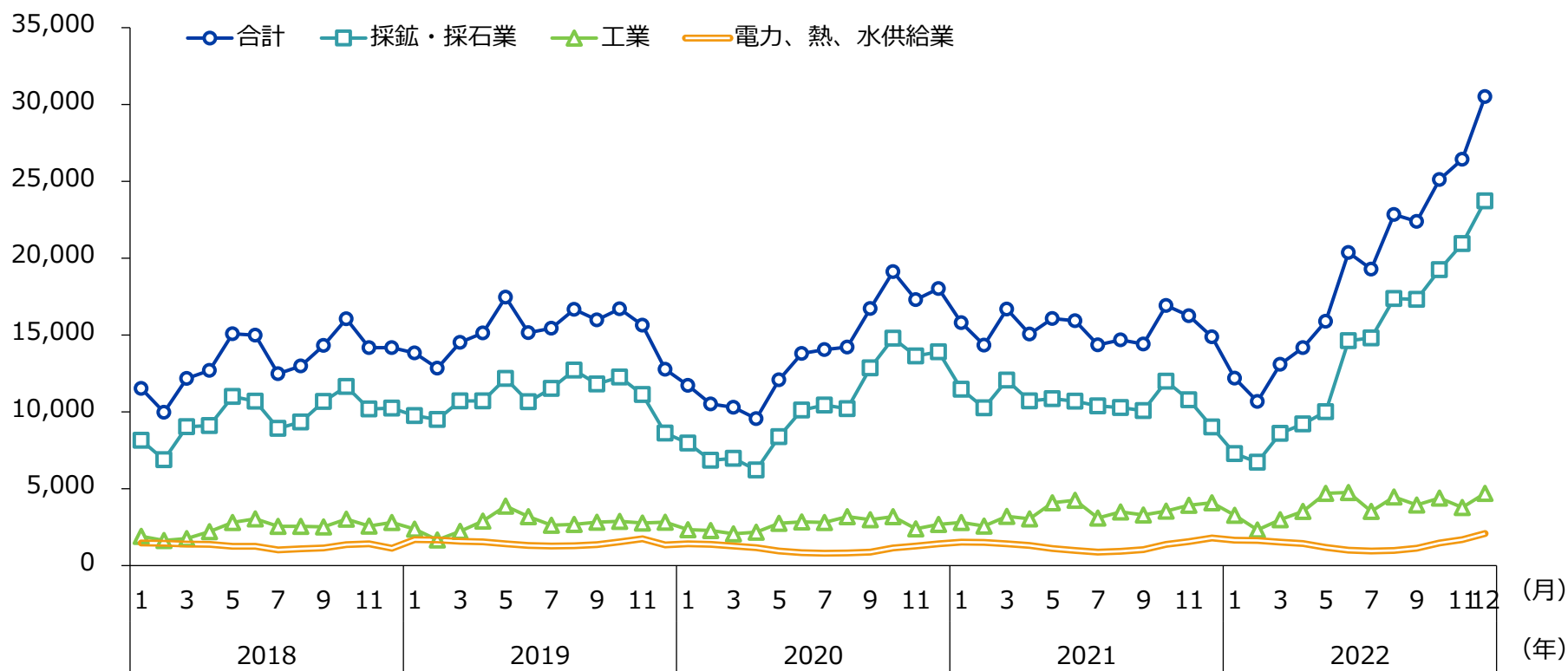
(出所) 国家統計局



# 1 | 名目鉱工業生産の推移

- 2022年における鉱工業生産額は、前年比25.7%増の23兆2,973億トウグルクとなった。
- 2022年3月以降、採鉱・採石業が回復し、コロナ前を大きく上回った。

(億トウグルク)

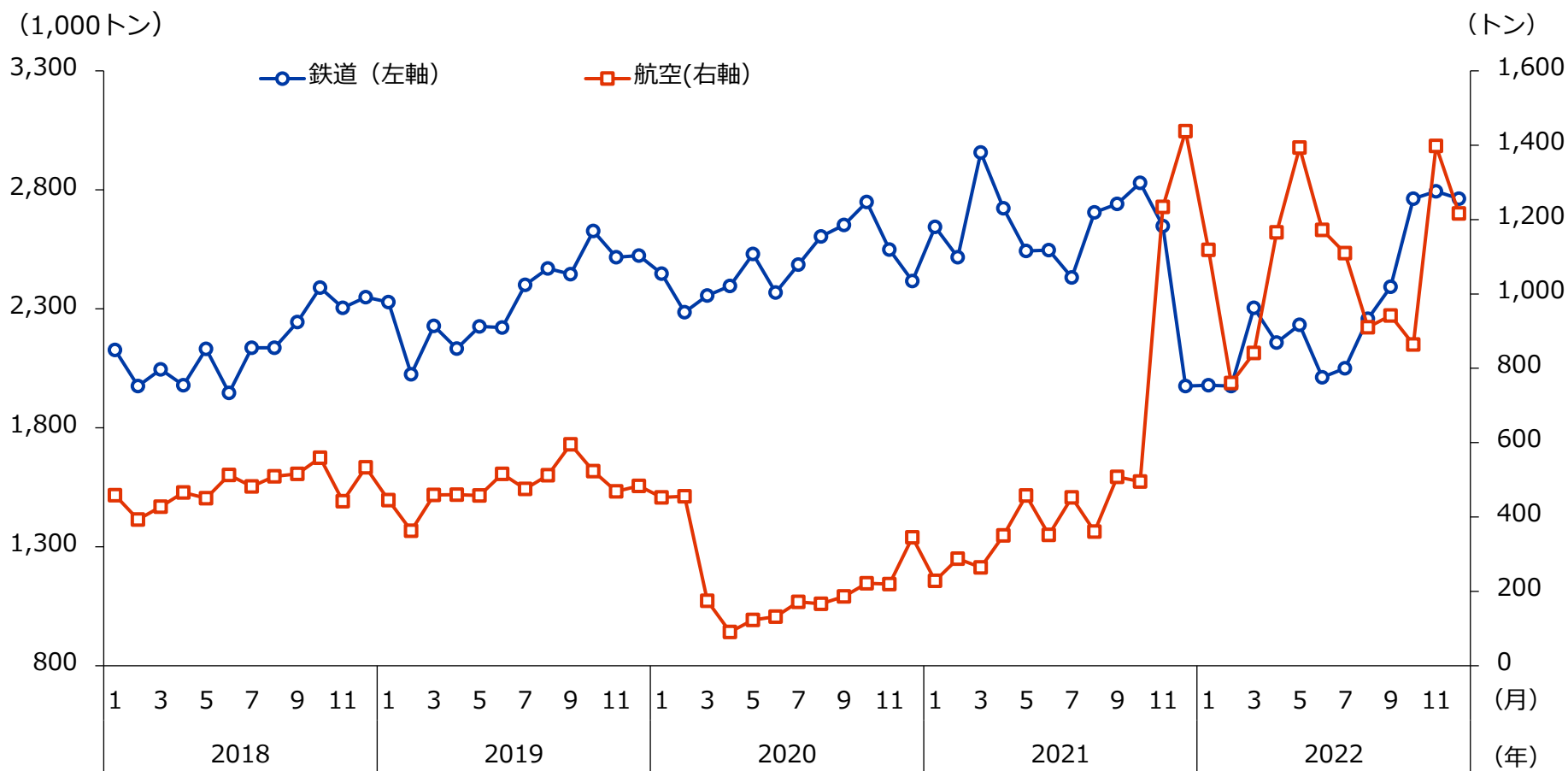


(注) 2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

## 2 | 貨物輸送量

- 2022年における鉄道貨物輸送量は、前年比11.5%減の2,768万トン、航空貨物輸送量は、同2倍の1万2,892トンだった。



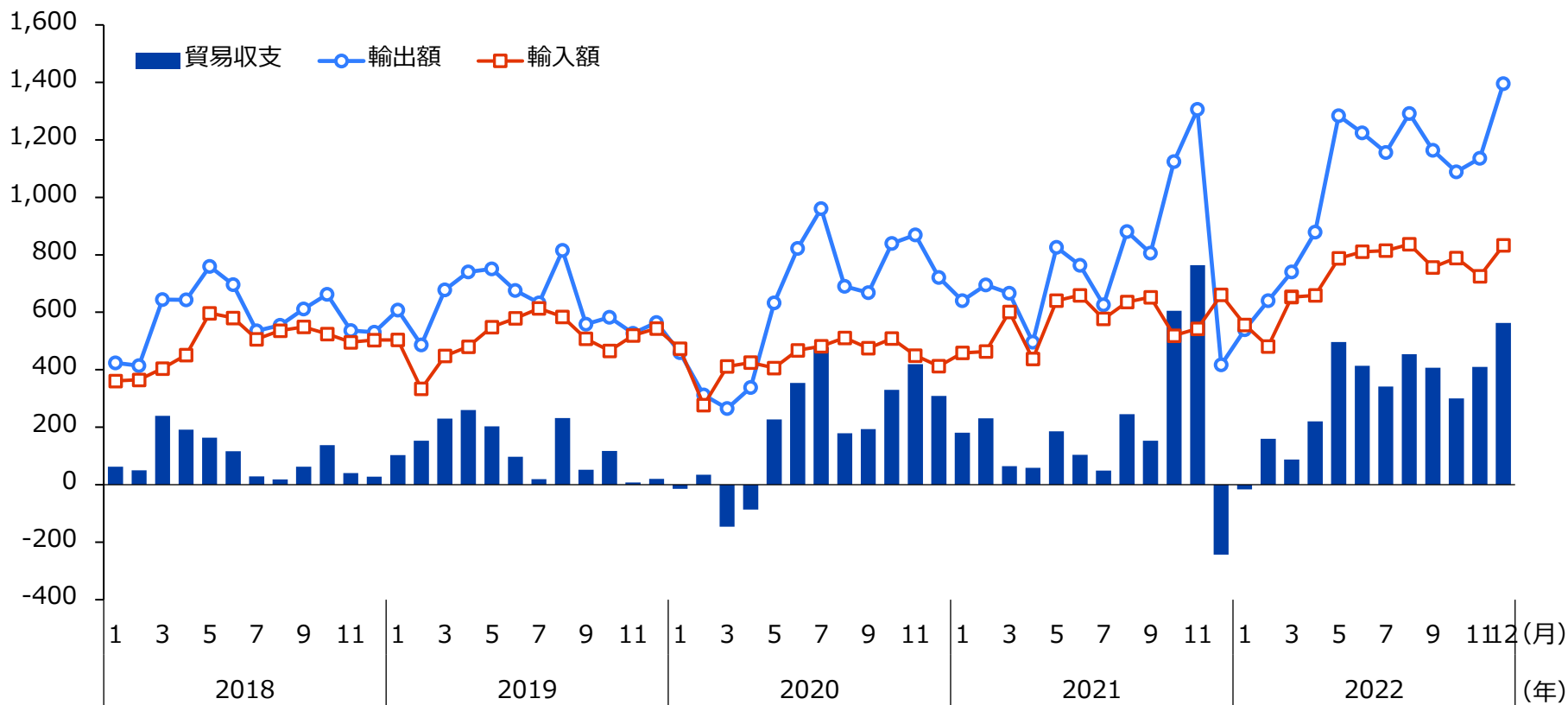
(注) 2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

# 1 | 貿易の推移

- 2022年における貿易総額は、前年同期比32.0%増の212億4,480万ドルとなった。うち、輸出額は35.6%増の125億4,038万ドル、輸入額は27.1%増の87億442万ドルとなった。
- 貿易収支は38億3,596万ドルの黒字だった。

(100万ドル)



(注) 2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

## 2 | 主要輸出入品目

- 主要輸出品目である鉱物のうち、2022年の輸出額は石炭が前年比2.3倍、銅精鉱が5.7%減となった。石炭の輸出額の急増は、石炭価格が上昇したためである。
- 主要輸入品目では、鉱物製品が46.4%増となった。

(単位：100万ドル)

品目	2020年	2021年	2022年	前年比 (%)
輸出	7,576.3	9,241.1	12,540.4	35.7
鉱物	5,256.0	7,510.4	10,542.0	40.4
石炭	2,126.6	2,779.5	6,502.7	2.3倍
銅精鉱	1,778.0	2,899.9	2,734.8	△ 5.7
卑金属およびその製品	66.6	97.1	98.6	1.6
皮革および毛皮並びにこれらの製品	7.4	6.5	5.2	△ 19.3
生地およびその製品	279.5	370.7	489.7	32.1
石、人造石、貴金属および宝石	1,789.9	1,025.4	1,135.4	10.7
輸入	5,298.9	6,845.5	8,704.4	27.2
食料品	434.4	607.2	781.2	28.6
鉱物	1,007.2	1,338.6	1,960.3	46.4
ガソリン	244.7	391.1	561.3	43.5
ディーゼル	432.4	590.1	959.7	62.6
卑金属およびその製品	535.7	567.2	812.8	43.3
自動車およびその部品	849.8	1,228.4	1,696.1	38.1
機械器具、電気製品	1,060.6	1,248.7	1,265.1	1.3

(注) 2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

### 3 | 主要輸出相手国および輸出額

- 2022年における主要輸出相手国のうち、輸出額1位の中国は前年比38.3%増、構成比は84.3%（1.7ポイント上昇）となった。

国名	2020年		2021年		2022年		
	金額 (1,000ドル)	構成比 (%)	金額 (1,000ドル)	構成比 (%)	金額 (1,000ドル)	伸び率 (%)	構成比 (%)
合計	7,576,311	100.0	9,241,123	100.0	12,540,382	35.7	100.0
中国	5,489,993	72.5	7,633,173	82.6	10,565,919	38.4	84.3
スイス	1,681,589	22.2	869,738	9.4	1,030,719	18.5	8.2
シンガポール	151,251	2.0	254,091	2.7	346,016	36.2	2.8
韓国	21,421	0.3	223,303	2.4	277,636	24.3	2.2
ロシア	57,275	0.8	112,784	1.2	91,619	△ 18.8	0.7
イタリア	19,403	0.3	35,560	0.4	88,058	2.5倍	0.7
ドイツ	11,589	0.2	12,188	0.1	25,976	2.1倍	0.2
日本	9,629	0.1	17,733	0.2	15,228	△ 14.1	0.1
香港	3,156	0.0	5,145	0.1	12,894	2.5倍	0.1
英国	84,071	1.1	10,137	0.1	12,399	22.3	0.1
その他	46,934	0.6	67,270	0.7	73,919	9.9	0.6

(注) 2022年は速報値。

(出所) モンゴル税関庁

## 4 | 主要輸入相手国および輸入額

- 2022年における輸入総額は前年比27.1%増となった。主要輸入相手10カ国のうち、第1位の中国と第2位のロシアで約3分の2を占める。日本は第3位で7.7%を占めた。

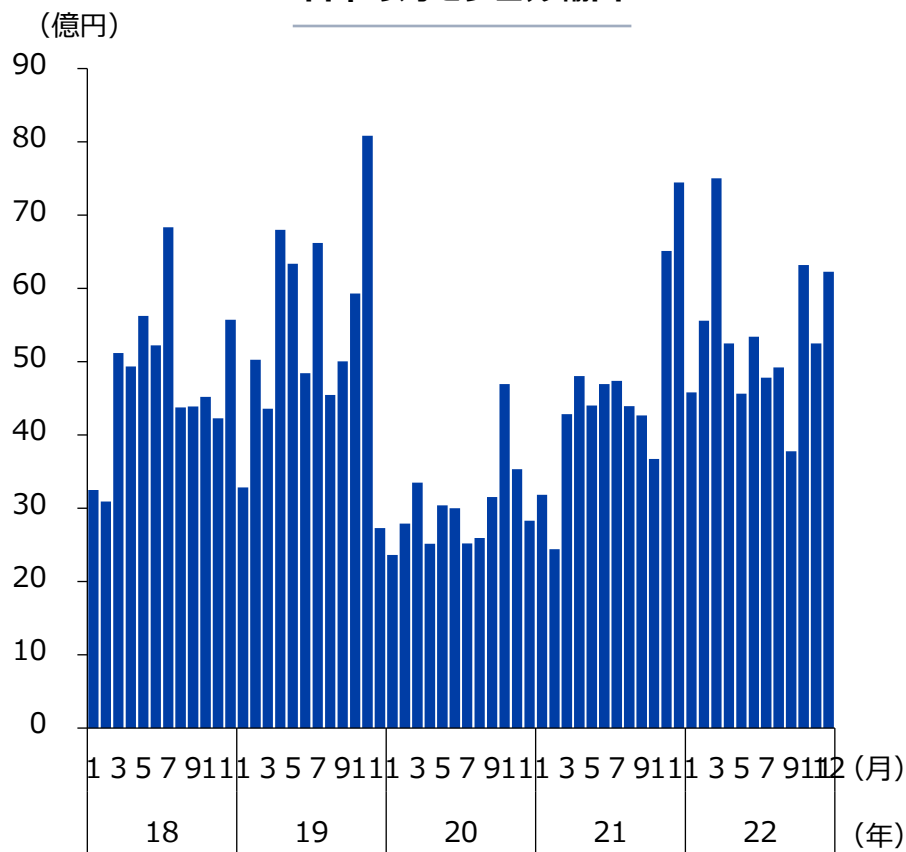
国名	2020年		2021年		2022年		
	金額 (1,000ドル)	構成比 (%)	金額 (1,000ドル)	構成比 (%)	金額 (1,000ドル)	伸び率 (%)	構成比 (%)
合計	5,298,913	100.0	6,845,453	100.0	8,704,418	27.2	100.0
中国	1,892,788	35.7	2,490,600	36.4	3,042,370	22.2	35.0
ロシア	1,399,962	26.4	1,955,193	28.6	2,611,462	33.6	30.0
日本	406,713	7.7	453,169	6.6	674,247	48.8	7.7
韓国	235,769	4.4	308,747	4.5	424,643	37.5	4.9
米国	245,357	4.6	213,383	3.1	266,091	24.7	3.1
ドイツ	184,774	3.5	223,251	3.3	182,827	△ 18.1	2.1
フランス	32,480	0.6	68,873	1.0	150,907	2.2倍	1.7
トルコ	37,322	0.7	71,204	1.0	108,343	52.2	1.2
ポーランド	56,646	1.1	83,357	1.2	97,707	17.2	1.1
インド	34,608	0.7	63,618	0.9	90,983	43.0	1.0
その他	772,494	14.6	914,058	13.4	1,054,838	15.4	12.1

(注) 2022年は速報値。  
(出所) モンゴル税関庁

# 5 | 日本との貿易概況

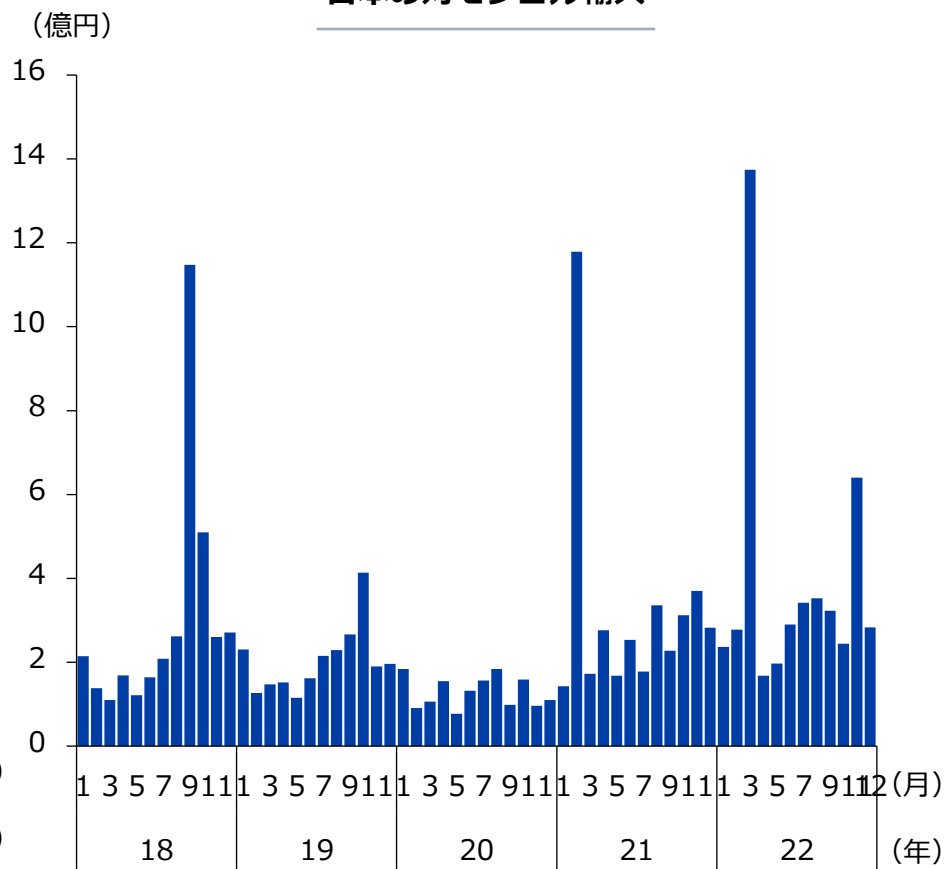
- 貿易額について日本側の統計をみると、2022年における日本の対モンゴル輸出は前年比16.9%増の641億円、日本の対モンゴル輸入は21.2%増の47億円となった。

日本の対モンゴル輸出



(出所) 財務省貿易統計 (日本)

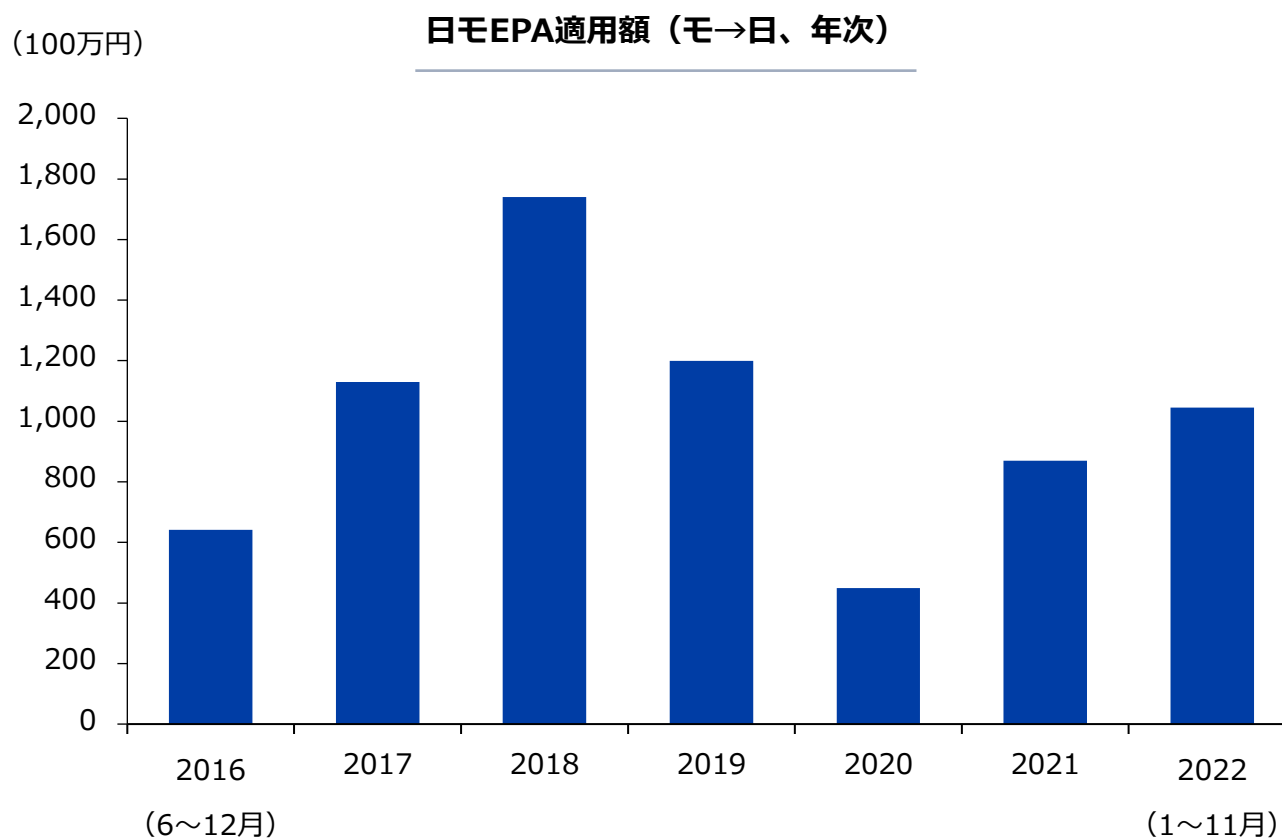
日本の対モンゴル輸入



(出所) 財務省貿易統計 (日本)

## 6 | 日モEPAの実績①

- 2016年6月のEPA発効以降2018年まで、モンゴルから日本向け免税対象品目（注：銅精鉱・瀝青炭を除く）の輸出は増加していたが、2020年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大もあり、モンゴルから日本へのEPA適用輸出は大きく減少した。2022年はコロナ前の水準には及ばないものの回復し、2022年1～11月は前年同期比44.1%増だった。



(注) 2016年は6～12月、2022年は1～11月の数値。

(出所) 財務省貿易統計（日本）

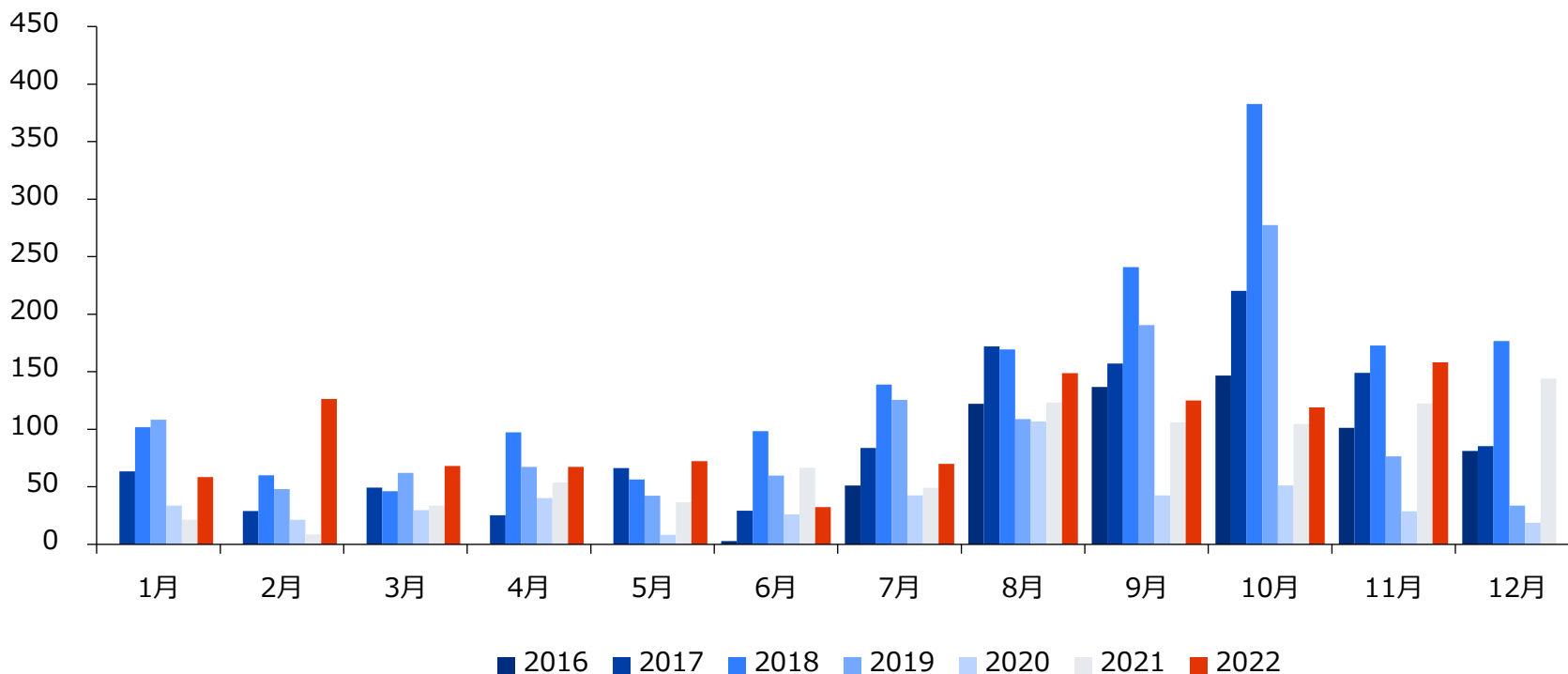


## 7 | 日モEPAの実績②

- 日モEPA適用輸出額を月別にみると、例年下半期に増加する傾向にあり、9月から10月にかけてピークとなっている。
- 2022年2月以降、単月ではコロナ前の水準を上回る月もあり、回復傾向がみられる。

日モEPA適用額（モ→日、月次）

(100万円)

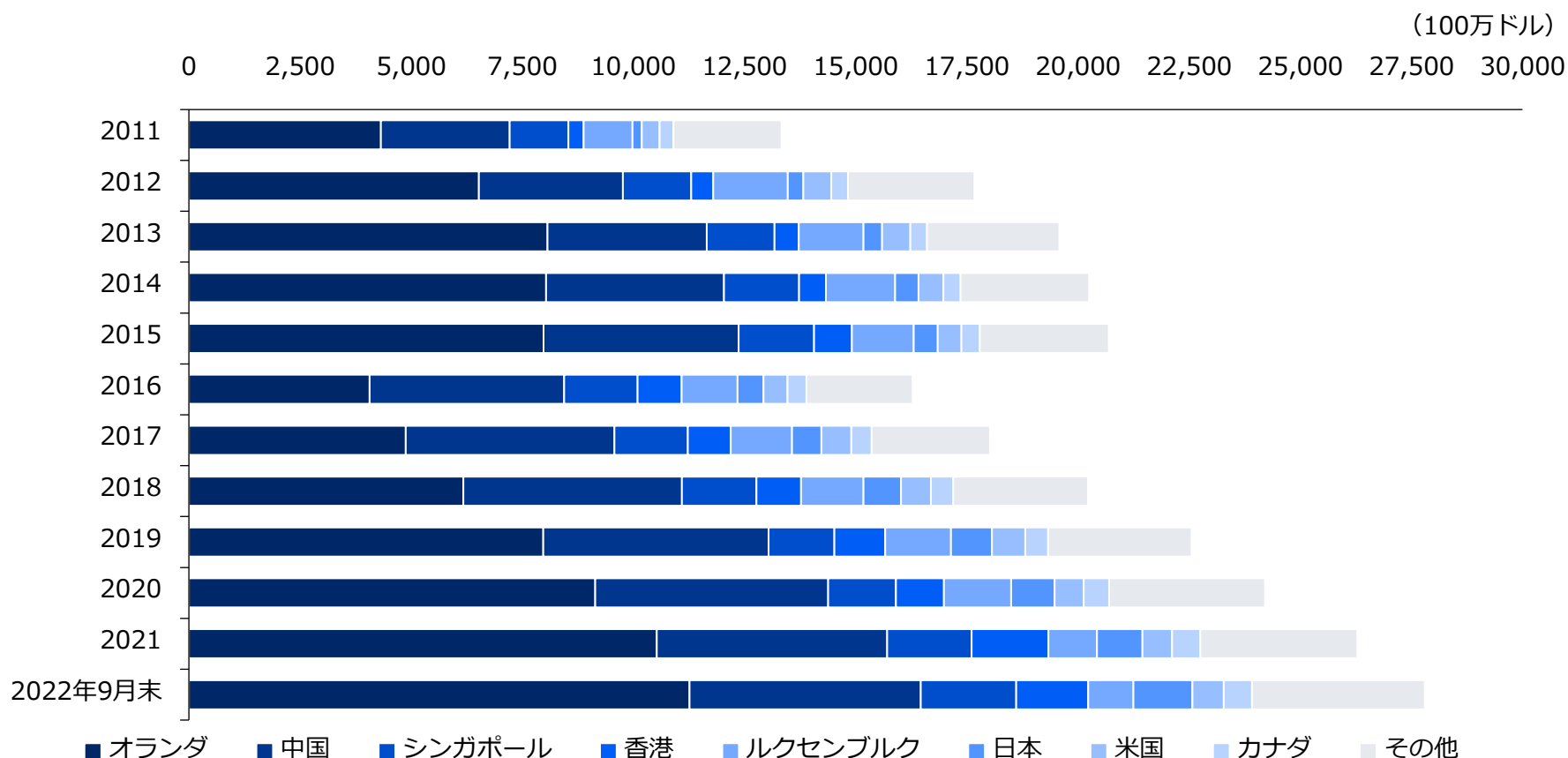


(注) 2016年は6～12月、2022年は1～11月の数値。

(出所) 財務省貿易統計（日本）

## 8 | 主要国・地域別対内直接投資額

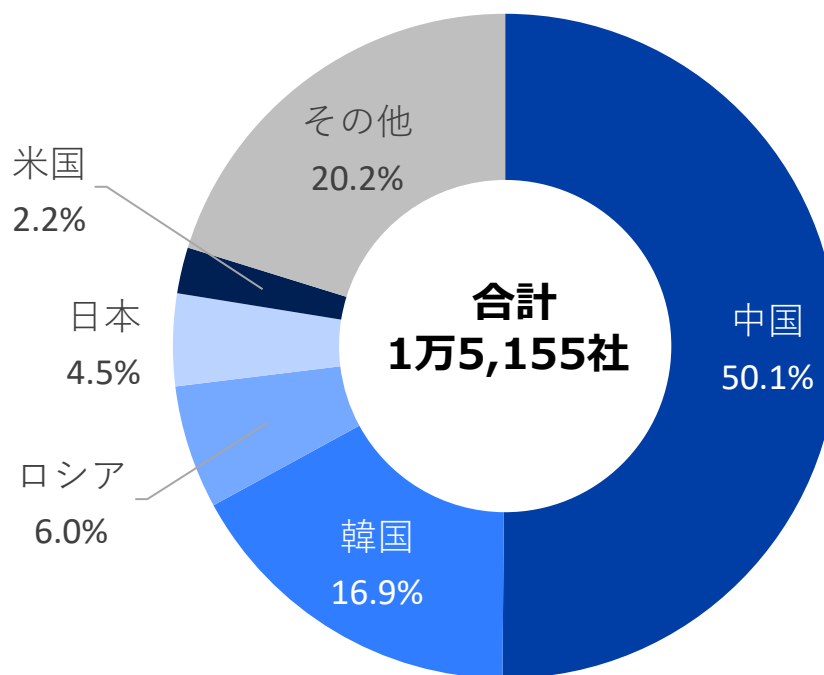
- 2022年9月末時点の対内直接投資額（累計）は、278億ドルとなった。主要国・地域別ではオランダ、中国、シンガポール、香港、ルクセンブルクの5カ国・地域からの直接投資が212億ドルで全体の76.4%を占めた。日本からの直接投資額は13億3,190万ドルとなっている。



## 9 | 主要国・地域別投資企業数

- 2022年6月時点の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万5,155社。このうち、中国が7,597社で、全体の約5割を占めて最大となっている。次いで韓国（2,564社）、ロシア（911社）、日本（680社）、米国（340社）等の順となっている。

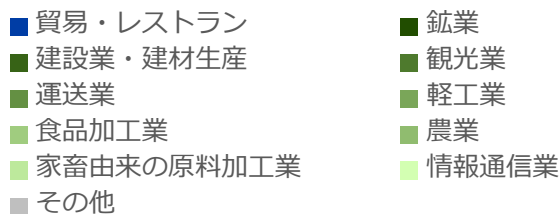
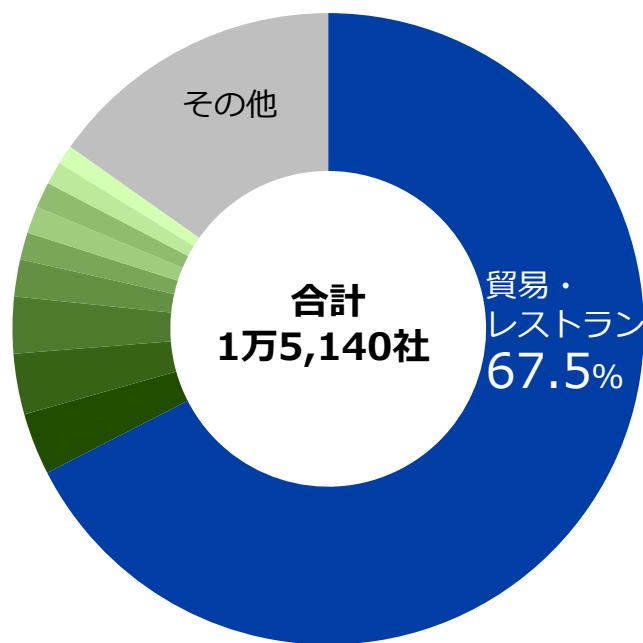
主要国・地域別の直接投資企業数



(注) 2022年6月現在。  
(出所) 経済開発省（モンゴル）

# 10 | 主要業種別投資企業数

- 経済開発省によると、2022年6月現在、主要業種別の直接投資企業数は合計1万5,140社。そのうち、**貿易・レストランが1万214社で全体の7割**を占める。



主要業種別の直接投資企業数

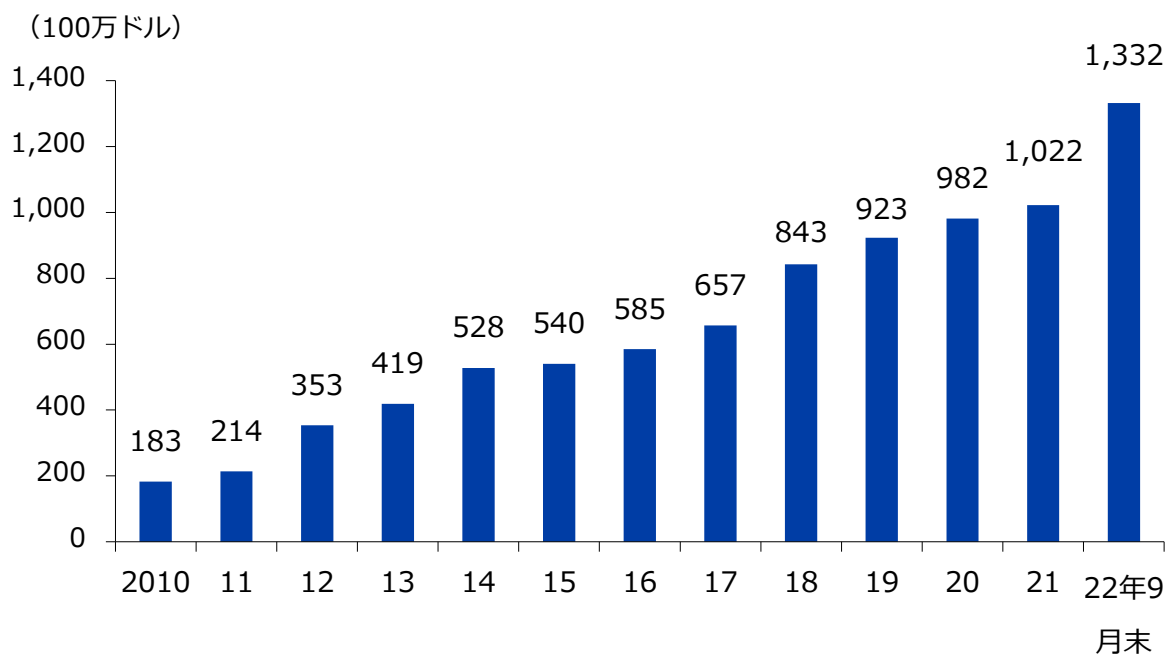
(社)

業種	投資企業数
貿易・レストラン	10,214
鉱業	480
建設業・建材生産	470
観光業	439
運送業	287
軽工業	211
食品加工業	209
農業	200
家畜由来の原料加工業	177
情報通信業	149
その他	2,304
<b>合計</b>	<b>15,140</b>

(注) 2022年6月現在。 (出所) 経済開発省 (モンゴル)

# 11 | 日本からの直接投資①

- 2022年9月末における日本からの直接投資額（累計）は、13億3,190万ドルとなった。
- 日本からの主要投資分野は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどとなっている。



(出所) モンゴル銀行

## モンゴル日本商工会会員企業名 (一部抜粋、順不同)

大日本土木	松坂屋建材
伊藤忠商事	日本工営
鴻池組	シスメックス
丸紅	TDB Leasing
住友商事	MUFG
UniGas	加藤運輸
三井物産	Apollo Building Service
MobiCom	Mongolia
フロンティア証券	大正法律事務所
賛光精機	モンゴリア東横イン
三菱商事	TOYOTA SALES
Azuma Shipping	MONGOLIA
Aizawa Mongolia	Japan Unoactive Mongol
HIS Mongolia	エイト森
岩田地崎建設	電通データアーティスト
原口総合法律事務所	ンゴル
メガテック	Cominix
ユニメディア	コージツ
Transwest Mongolia	

(注) 上記会員企業には駐在員事務所も含むため、必ずしもすべての企業がモンゴルへの投資を実施しているわけではない。

(出所) モンゴル日本商工会

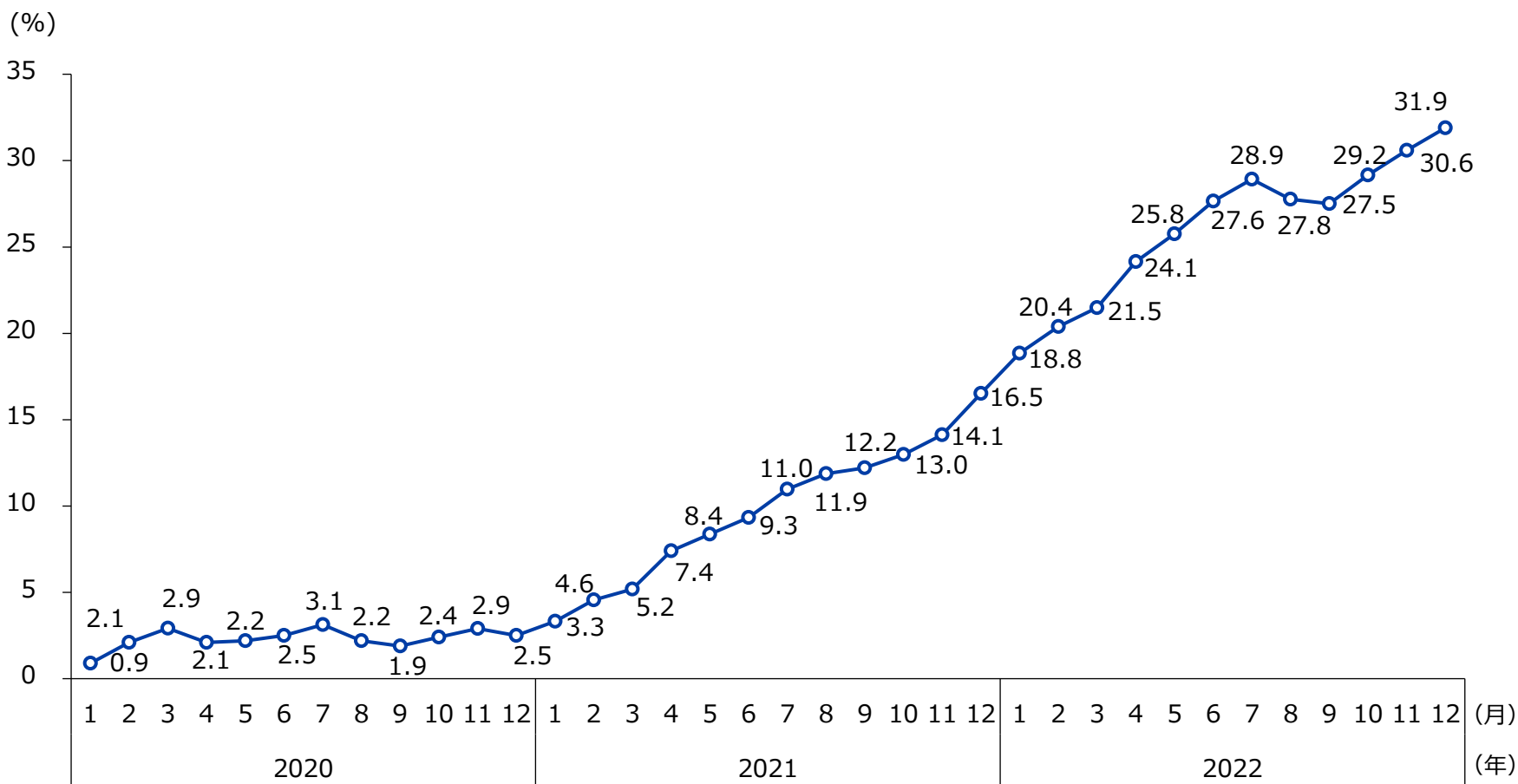
# 12 | 日本からの直接投資② 最近の日本企業の進出事例

業種	企業名	事業内容
IT、AI	データアーティスト	AI
	Ginco	仮想通貨マイニング
教育・人材育成	ウーノ・アクティブ	公務員研修、介護士研修
	キャストリア	モバイルラーニング
再生可能 エネルギー	シャープ&重光商事	ダルハン太陽光発電所10MW ザミンウッド太陽光発電所16.5MW
	ファームドウ	モンナラン太陽光発電所12.7MW 農業、CO2クレジット取引
	SBエナジー	ツェツィー風力発電所50MW
	京セラコミュニケーションシステム	ホブド・ナル太陽光発電所10MW
ホテル	東横イン	ビジネスホテル
外食	吉野家ホールディングス	牛丼チェーン
物流	摂津倉庫	倉庫業
	日本リユースシステム	リサイクル

(出所) プレスリリースなどを基にジェトロ作成

# 1 | 物価（インフレ率）

- 2022年12月のインフレ率（全国）は前年同月比13.2ポイント上昇した。2019年末を100とする指数では31.9ポイント上昇となった。上昇の主な要因は食品・飲料（前年同月比15.4%）、アルコール飲料・タバコ（同8.1%）、衣類および履物（同18.5%）の価格上昇である。

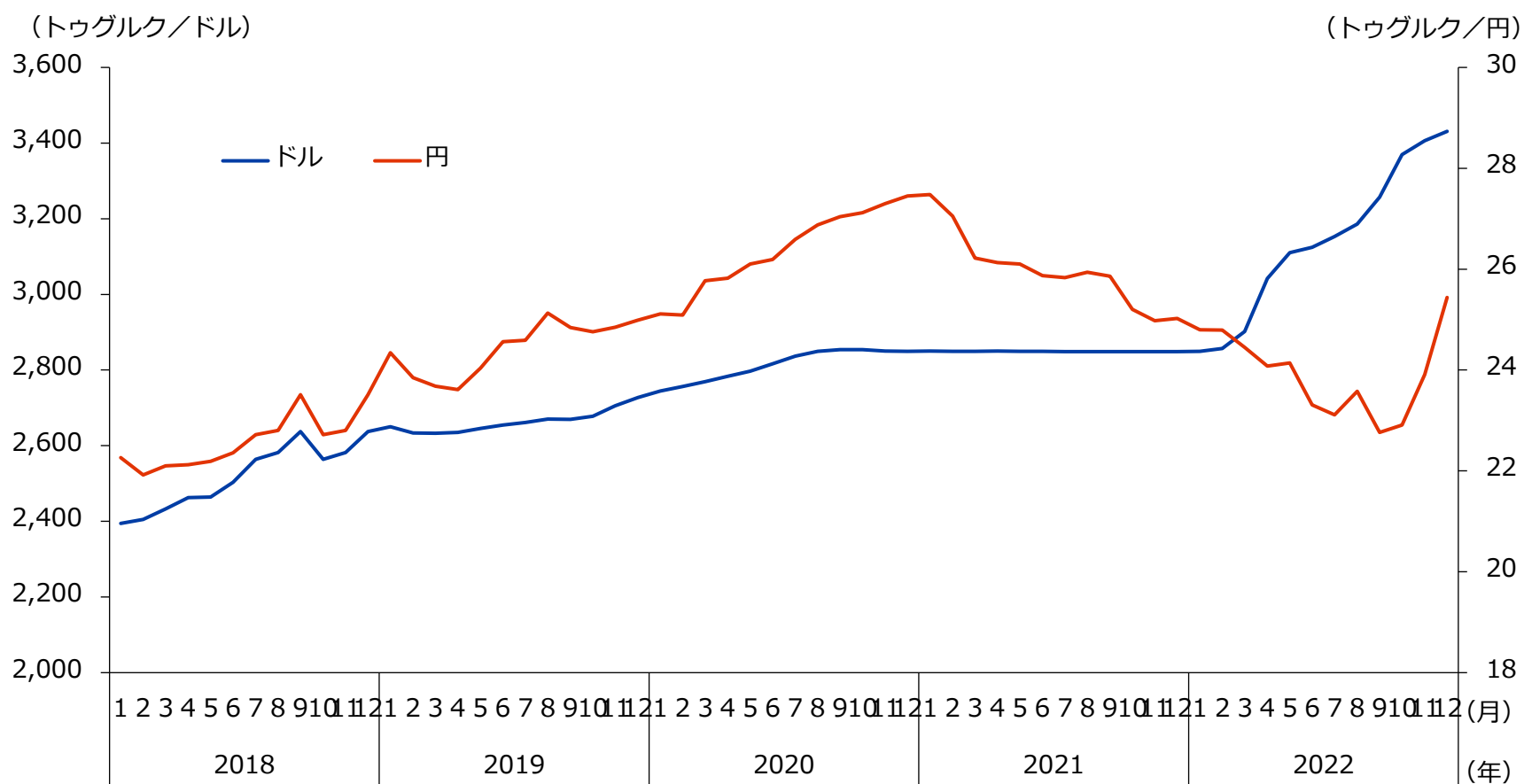


(注) 2019年末を100とする指数。

(出所) 国家統計局

## 2 | 対ドル・対円の為替レート

- 2022年12月は前月比で対ドルと対円で共にトゥグルク安となり、1ドル=3,431トゥグルク、1円=25.4トゥグルクだった。

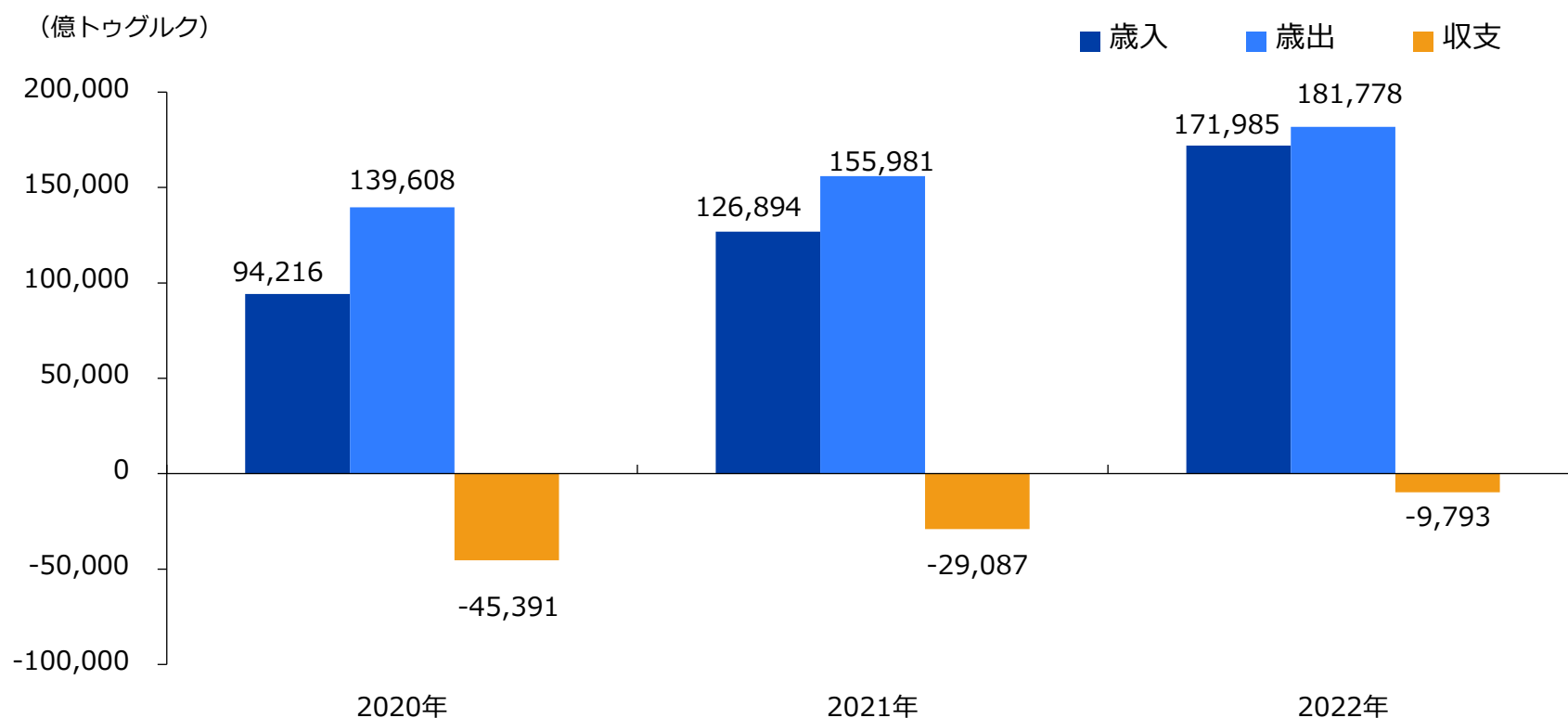


(出所) モンゴル銀行



# 1 | 歳入・歳出の推移

- 2022年における政府の歳入は17兆1,985億トウグルク、歳出は18兆1,778億トウグルクとなった。財政収支は、9,793億トウグルクの赤字となった。

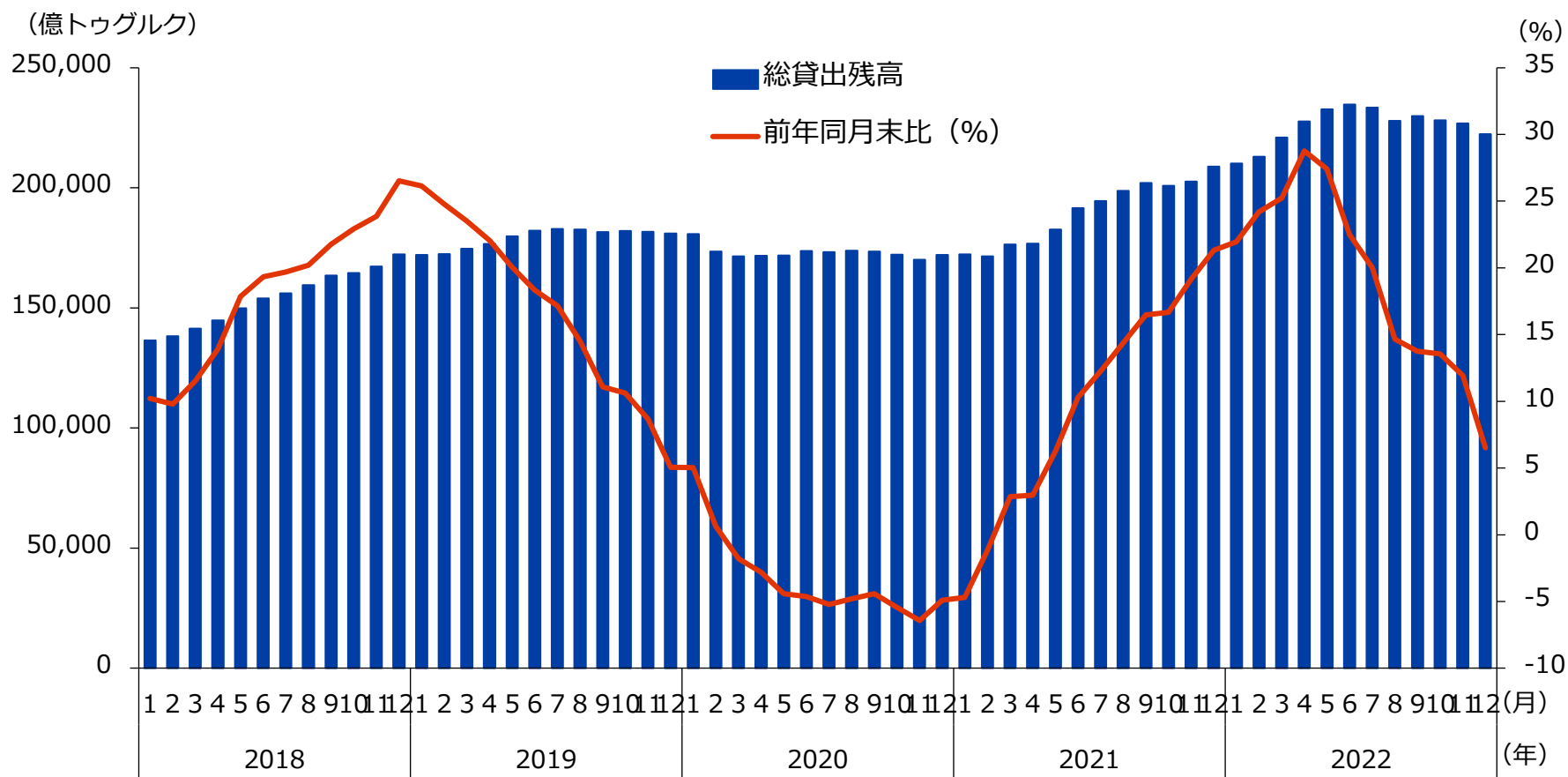


(注) 2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

## 2 | 貸出残高

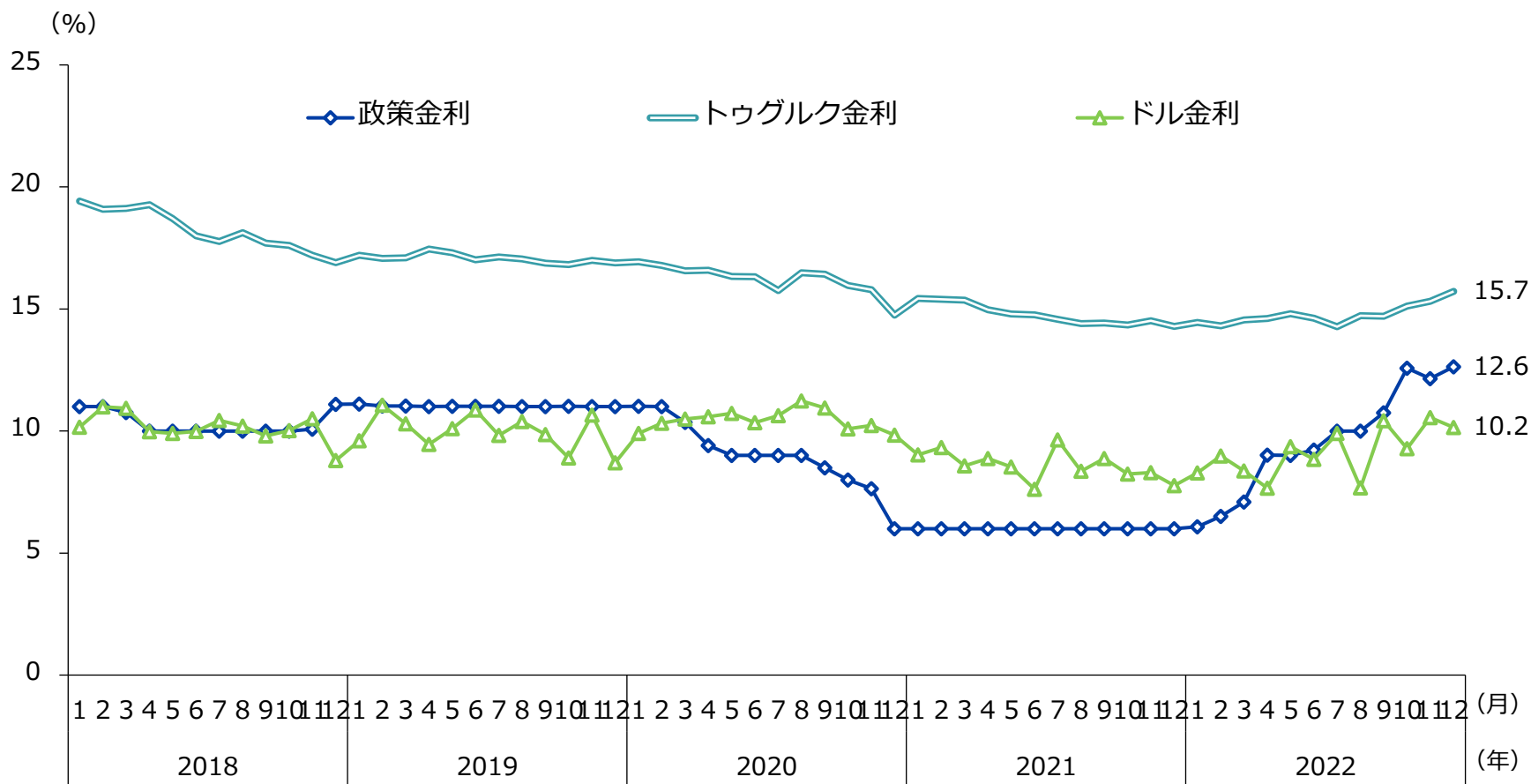
- 2022年12月末時点の総貸出残高は、前年同月末比6.5%増の22兆2,348億トゥグルクだった。



(出所) モンゴル銀行

### 3 | 貸出金利

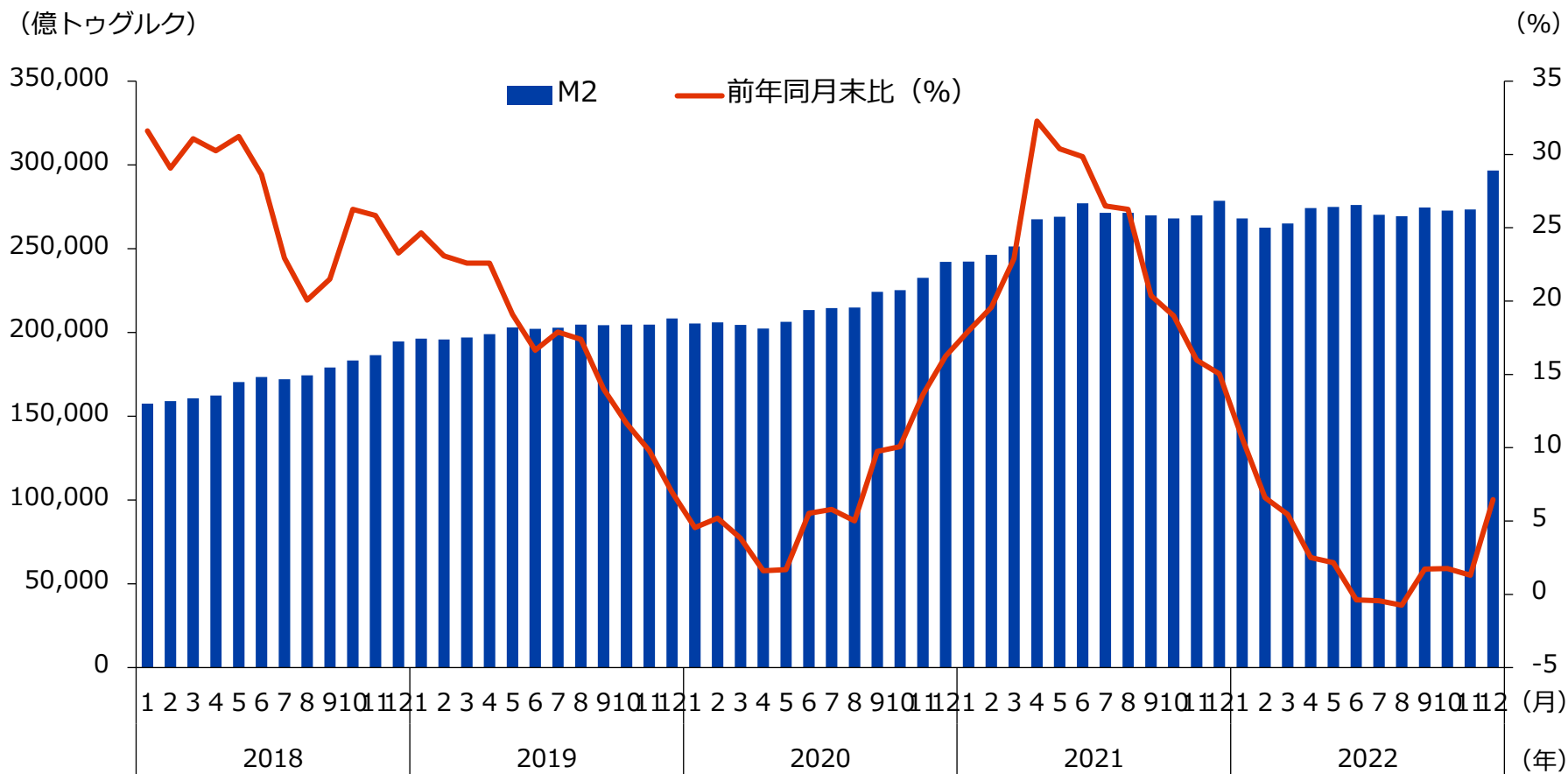
- 2022年12月の政策金利は、前年同月比6.6ポイント上昇の年利12.6%だった。
- 新規貸出平均金利はトゥグルクが同1.4ポイント上昇の15.7%、ドルが同2.4ポイント上昇の10.2%だった。



(出所) モンゴル銀行

## 4 | M2の推移

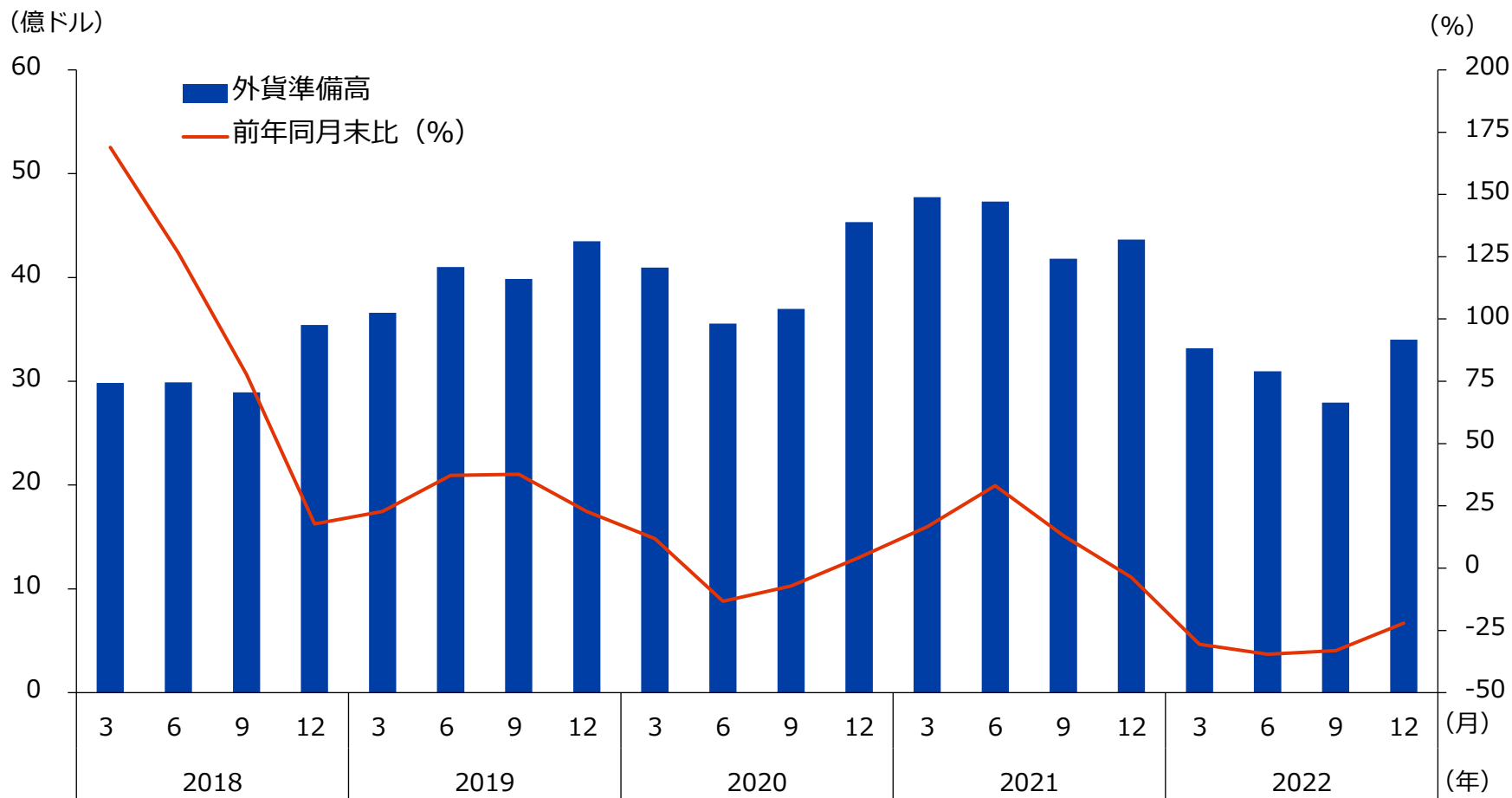
- 2022年12月末のマネーサプライ（M2）は、前年同月末比6.5%増の29兆6,648億トゥグルクだった。



(出所) モンゴル銀行

## 5 | 外貨準備高

- 2022年12月末時点の外貨準備高（グロス）は、前年同月末比22.1%減の33億9,960万ドルとなった。



(出所) モンゴル銀行

# レポートをご覧いただいた後、 アンケートにご協力ください。

(所要時間：約1分)

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20220064>



## 本レポートに関する問い合わせ先

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部中国北アジア課



03-3582-5181



ORG@jetro.go.jp



〒107-6006

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル6階

### ■ 免責条項

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載